

●向日市役所(〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20) ●編集 秘書広報課 ●電話 075(931)1111

市税1万円の使いみち

2,900円 民生費
高齢者・心身障害者・
児童の福祉増進、生活
保護などに

1,330円 公債費
長期の借入金である市債の返済
に

1,290円 総務費
交通安全対策・女性
政策、市民会館・コ
ミセンの運営費、選
挙などに

1,220円 教育費
心の教育の推進、児童
生徒の教育環境の向
上、図書館等の運営に

1,170円 土木費
道路・公園などの
整備管理などに

1,150円 衛生費
市民の健康・予防、
ごみの収集処理など
に

480円 消防費
消防業務、救急業務
などに

460円 その他
議会費、商工費、農林水産業費、
諸支出金など

歳入 市税が大幅に減収

最も大きなウエートを占める市税は、不況による法人市民税、個人所得の減や恒久減税の実施等により、66億5,825万円と、対前年度比マイナス5.5%、3億9,055万円の減となり、平成2年度の税収と同規模まで落ち込んでいます。市債では、市債発行の抑制に努め、対前年度比52.2%減に、繰入金では、財政調整基金から3億8,000万円の繰入れとなっています。

緑やさしく 安心のまち

都市に緑を育み、生活道路など市民に身近な都市基盤の整備を進めるとともに、暮らしの周辺の環境を整え、市民が安全で安心して暮らせることがまちづくりの基本です。

市民の命と財産を守り、災害に強い安心のまちをつくるため、非常用備蓄物資や災害用備品などの充実や、防災協力農地の確保などを進めます。浸水対策では、阪急東向日駅周辺の雨水浸水対策として、石田川1号雨水幹線築造工事に着手します。

また、資源の有効利用や温暖化問題に対処するため、ごみ減量・リサイクル推進協力店の認定制度を発足させるとともに、ごみ減量に積極的な市民の実践記の発行やリサイクル「ひまわり市」の開催、チャイルドシート装着の徹底を図るため、新たにその貸出し事業を行います。

まちづくりを推し進めていく基本となる平成12年度予算がまとまりました。
本号では、施策の五つの大きな柱である、○緑やさしく安心のまち ○人のぬくもりが感じられるまち ○新しい風に活気あふれるまち ○明るい笑い声と歓声が聞こえるまち ○人と人とのふれあいを大切にするまちを中心にお知らせします。
(一般会計の主な施策・事業は4・7面に掲載)

人のぬくもりが感じられるまち

子供からお年寄りまで、すべての市民が、自らが主体的に健康づくりを行い、その生涯を通じて、健康で安心して暮らせるまち、ゆとりと豊かさを実感できる「笑顔が輝く健康都市」の実現を図っていきます。

市民自からの主体的な健康づくり活動を支援するため、いきいき健康倶楽部を創設し、健康運動教室の開催など、市民の健康づくりの輪を広げていきます。

介護保険制度の実施に伴い、介護保険サービスを補完するため、従前の在宅老人にかかる福祉対策は、引き続き実施し、一層の充実を図ります。第4向日陽小学校の余裕教室を活用した(仮称)第2老人福祉センターは、国の「共生のまち推進事業」に採択され、高齢者と児童との世代間交流が図れる施設として、本年7月に完成します。

市民みんなの笑顔が輝く

安心・安全の健康都市づくり

平成12年度予算スタート

新しい風に活気あふれるまち

本市の産業活動に新しい風を吹き込み、個性的で魅力があり、活気溢れるまちを築いていきます。

都市近郊農業の活性化を図るため、農作業受託組織への農業機械購入補助など、21世紀型地域農場づくり事業を実施し、新しい地域農業の仕組みを確立していきます。

地域の振興と活性化を図るため、経営診断の実施や経済講演会を開催するとともに、向日市商工会に対し、活動費補助やミレニアム事業、空き店舗活用事業への補助を行います。

観光推進では、竹に親しみながら市民が憩える散策道として、寺戸大塚古墳など周りの景観を生かした(仮称)竹の径の整備を行います。また、キリンビール京都工場跡地問題や阪急電鉄京都線の高架化など、北部地域の課題に対処するプラン策定を行います。

明るい笑い声と歓声が聞こえるまち

子供からお年寄りまで、すべての市民が、生涯にわたる学習機会やスポーツを通して自己実現ができる明るい笑い声と元気な歓声が聞こえる健全なまちを築いていきます。

また、本市の貴重な歴史や文化を活用し、市民が郷土に愛着や誇りが持てる個性豊かなまちを創造します。

情報化教育を推進するため、第3向日陽小学校にコンピューター室を整備するとともに、第4向日陽小学校北校舎の大規模改造事業を引き続き実施します。

児童・生徒の健康づくりなど特色ある学校づくりを推進するため、社会人講師の採用や健康講座、地域シンポジウムを開催します。

さらに、西暦2000年を記念して「図録・幻の都」を作成し、長岡京の史料作成に取り組みます。

人と人とのふれあいを大切にするまち

まちの活性化には、人と人とのふれあいや、市民間の活発な交流活動が、大切です。あらゆる世代が多彩な交流の中で、それぞれが活力を発揮できる環境づくりに努めます。

市民まちづくりフォーラムの開催や市民と市長のふれあい通信の実施など、市民の建設的な声を市政に反映させます。

「平和と人権のつどい」や「親子平和教室」の開催、広島市平和祈念式参加者感想文集の作成を行います。また、女性政策の推進では、男女共同参画プランの策定や小学1年生向け啓発冊子の作成、女と男のいきいきフォーラムを開催します。

さらに、まちづくりシンポジウムの開催や、まちづくりの指針となる第4次総合計画を策定するとともに、行財政改善方策の推進に努めます。